

2023年度 第3次年次達成度報告書

担当委員会	数理・データサイエンス・AI教育委員会	
分野	〈大学〉教育	
基本方針（第1層）	大学憲章の基本理念に基づき、教育、研究、学生支援、社会貢献を推進し、大学運営を行うことにより、「後世に残る大学」を目指します。	
中期目標（第2層）	三つのポリシーに基づき、学生の成長を促す教育を実践します。	
中期計画（第3層）	7 全学的なデータサイエンス教育の充実	
実行計画（第4層）	実行計画名	(1)体系的なデータサイエンス教育の開講、構築
	計画内容	正課授業において全学的に展開するデータサイエンス教育として、共通教育科目の情報分野科目を中心とした、体系的な教育プログラムを開講、構築する。

■数値目標、達成時期、ゴールに達した状況

毎年度後期終了時に、共通教育科目の情報分野科目の履修状況や成績等の学修成果から、その妥当性を検証できている状況。
--

■各年度のPDCA

2023年度		
	活動目標・指標	手段・方法
Plan(計画) <small>(誰のために、何のために)</small>	<ul style="list-style-type: none"> データサイエンス教育プログラムの履修者を確保しつつ、学生の学修成果の向上に資する授業方法を検討する。 1年次前期科目「データサイエンス基礎（遠隔オンデマンド）」を開講し、履修者を確保する。昨年度実績の395人を上回ることを目標とする。 1年次後期科目「データサイエンス（遠隔オンデマンド）」を開講し、履修者を確保する。昨年度実績である839人を上回ることを目標とする。 全学的な合格率は85%程度だが、数理科目であることを考慮し、合格率は両科目とも昨年度同様に70%程度を見込む。 	<ul style="list-style-type: none"> オンデマンド授業においても、学生との双方向性が確保できるよう授業を管理する。 その手段として、「データサイエンス教育担当特任講師」を置くことを検討する。 年度終了後に履修状況や合格率を通じて教育評価を行う。
Do(実施・実行)	<p style="text-align: center;">活動実績・実績数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 学部横断で両キャンパスに科目担当者を配置し、学生からの質問に回答できるようにした。 年度終了後に履修率や合格率を通じて教育評価を行う。 6月15日開催の第3回総合企画会議において、新たに「データサイエンス教育の推進に係る業務」の特任講師の配置が審議、承認された。 「データサイエンス教育の推進に係る業務」にかかわる特任講師人事を実施、2024年度より業務を開始する。 	<p style="text-align: center;">予算措置</p> <p>予算要求： 無し</p> <p>主な使途：</p>
Check(点検・評価)	自己点検・評価	
	<ul style="list-style-type: none"> 「データサイエンス基礎（遠隔オンデマンド）」の履修者数は1,164人（KPC:762人、KAC:331人、経営DS専攻:71人）で、昨年度履修者数を大きく上回った。成績評価については、最終報告時に整理し検討する。 「データサイエンス基礎（遠隔オンデマンド）」アンケート集計の結果が概ね良好であったことは評価できる。 「データサイエンス教育の推進に係る業務」の特任講師の配置が審議、承認されたことは評価できる。 「データサイエンス（遠隔オンデマンド）」の履修者数は1,283人（KPC:863人、KAC:350人、経営DS専攻:70人）で、昨年度履修者数を大きく上回った。また、前期開講科目のデータサイエンス基礎の履修者数をも上回った。 「データサイエンス（遠隔オンデマンド）」アンケート集計の結果が、前期と同様に、概ね良好であったことは評価できる。 「データサイエンス（遠隔オンデマンド）」の合格率は76.2%、「データサイエンス（遠隔オンデマンド）」の合格率は71.4%で目標を上回った。一方で、D評価者は、前者248人（23.8%）、後者は20人（28.6%）と決して少なくはない。 	
Act(処置・改善)	<p style="text-align: center;">課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> 履修者の確保は、当初の計画以上に成果をあげている。 一方で、急激な履修者増加により、担当教員の負担も増大している。 D評価（単位未認定）の学生数が多い。 	<p style="text-align: center;">改善方策・発展方策（次年度活動目標・指標／次年度年次目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、履修者を確保しつつ、学生の学修成果の向上に資する授業方法を検討する。 「データサイエンス教育の推進に係る業務」の特任講師が採用された後、具体的な業務内容の調整を行う。 提出物、小テストの不振者に対するサポートについて検討する。

達成度(期末)
B

【達成度】

- S：目標をはるかに上回る
- A：目標をやや上回る
- B：おおむね目標どおり
- C：目標をやや下回る
- D：目標をかなり下回る